

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度：	令和 7 年度
施設所管課：	文化振興 課

1 施設の概要

施設名	唐津市末盧館	所在地	唐津市菜畑 3 3 5 9 番地 2
設置目的	国史跡菜畑遺跡を後世に伝えるとともに本市及びその周辺から出土した資料の保存とその活用を図り、もって市民文化の向上に資するために唐津市末盧館を設置する。		
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12月29日から1月3日まで	開館時間	午前9時から午後5時

2 施設の利用状況

説 明	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	利用状況の傾向と増減の要因
利用者数	2,331 人	3,288 人	3,928 人	3,711 人	SNSの更新に努め、来館希望者にイベント情報、広場の花・稲の情報等をリアルタイムに届けたり、祝祭日や夏休み等の来館者向けのミニ体験を開催したりして来館者増加に努めた。他にも、職場体験時の1日学芸員体験・缶バッヂ作成等の就労体験、社会科見学時のミニ体験等プラスすることで口コミで広まり希望の学校が増えている。
事業参加者数	1,381 人	1,805 人	2,188 人	2,012 人	SNSでの情報発信が利用者に定着し、イベント情報、申し込みの手軽さ等、利用者の立場に寄り添い対応してきた。稲作発祥祭、古代人体験教室、季節ごとの体験イベント、脱穀体験、歴史講座等年間を通して大人から子どもまで楽しめる様々なイベントを開催した。又、唐津市主催の巡回展にあわせて企画展を開催し、市内からの集客もできた。

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	公益財団法人唐津市文化事業団			
	所在地	唐津市西城内 5 番 2 6 号			
	代表者	理事長 今 村 繁 公			
指定期間		令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務内容		・ 末盧館の利用の許可に関する業務 ・ 末盧館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・ その他、市長が必要と認める業務			
事業の実施状況		・ 末盧館の利用の許可に関する業務 ・ 末盧館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・ その他、本事業団主催の自主事業を下記のとおり実施した。 唐津の歴史文化企画展、桜馬場ミニ企画展、菜畑ゼミナール、古代人体験教室、稲作発祥祭（田植祭、収穫祭、古代土器づくり教室）、脱穀体験、なばたけ古代体験教室、学芸員1日体験、出前講座、スタンプラリー 2025			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等		非常勤 嘱託・臨時職員、パート等		常勤の内訳
	2 人		1 人		事務員1人 学芸員1人

4 指定業務の収支状況 ※仕様書や協定書に記載された業務

単位：円

	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
収 入	14,678,638	14,041,566	637,072
指定管理料	14,673,000	14,040,000	633,000
利用料金収入 ※利用料金制の場合のみ			
その他収入	5,638	1,566	4,072
支 出	14,751,155	14,041,290	709,865
人件費	8,568,402	7,903,971	664,431
施設管理費	6,182,753	6,137,319	45,434
光熱水費	1,369,901	1,369,780	121
修繕費	137,500	282,730	-145,230
広告宣伝費	0	0	
委託料（再委託）	2,661,621	2,895,432	-233,811
保険料	5,330	2,930	2,400
事務費	2,008,401	1,586,447	421,954
施設使用料			
その他支出			
収支	-72,517	276	-72,793
利益配分額	-	138	

5 自主事業の収支状況 ※行政サービス向上のため、自主的に行う事業

単位：円

	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
収 入	988,704	1,228,776	-240,072
参加料	88,200	71,900	16,300
補助金・助成金	779,954	1,038,476	-258,522
売店売上	120,550	118,400	2,150
支 出	898,174	1,174,623	-276,449
自主事業	876,174	1,113,364	-237,190
商品仕入	22,000	61,039	-39,039
事務費	0	220	-220
収支	90,530	54,153	36,377

6 項目別評価

評価項目		評価の根拠 (確認資料等)	自己 評価	市の 評価
評価の視点				
1 業務の履行状況				
(1) 運営業務（全般）				
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	業務日誌 業務報告書	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	納入通知書 減免許可書	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	利用状況報告書	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	事業報告書	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	労働条件等確認シート	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	ワーキング委員会、 企画会議、事務文書綴	A	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	業務日誌 月末報告書綴	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	利用状況報告書	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	末盧館管理運営費関係綴	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	末盧館管理運営費関係綴	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	末盧館管理運営費関係綴	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	消防法関係綴 末盧館管理運営費関係綴	A	A
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	各事業関係綴	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	各事業関係綴	適	適
(2) 維持管理業務				
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	事業報告書	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	末盧館管理運営費関係綴 備品台帳	A	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	末盧館管理運営費綴	A	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	指定管理者関係綴	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	末盧館管理運営費関係綴	適	適

2 サービスの質				
(1) 運営業務（利用者対応、情報発信等）				
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	末盧館管理運営費関係級 備品台帳	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	事務文書級 減免申請書類	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	実地調査	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	アンケート調査級	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	アンケート調査級	A	A
③利用者 アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	アンケート調査級	A	A
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	アンケート調査級	A	B
④施設の 利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	利用状況報告書	A	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	実地調査	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	各事業関係級	A	A
(2) 事業実施状況				
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	各事業関係級	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	各事業関係級	A	A
(3) 地域貢献				
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	事業報告書	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	各事業関係級	A	A
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	末盧館管理運営費関係級	A	B
3 継続性・安定性				
(1) 運営業務（経理事務、予算執行等）				
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	会計帳簿	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	事業報告書、決算書	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	末盧館管理運営費関係級	適	適
(2) 収支状況				
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	末盧館管理運営費関係級、事業報告書	B	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	末盧館管理運営費関係級、事業報告書	B	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	末盧館管理運営費関係級、事業報告書	B	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント
	2 サービスの質	A	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	昨年度に引き続き田植え祭、古代人体験教室などの自主事業を積極的に開催された。また、市内を中心とした小中学校の歴史学習など多くの利用があり菜畑遺跡の周知を図るなど、文化振興の拠点づくりとしての施設の設置目的を達成している。年間入場者数は、コロナ禍前と比較して増加しており、施設が利活用されている印象である。